ユネスコスクール（ASPnet）

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：２０１２年４月～２０１３年３月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、ＨＰ等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

１．学校概要

学校名　大牟田市立吉野小学校

種別　□幼稚園・幼稚園　■小学校　□小中一貫教育
□中学校　□高等学校　□中等高等学校
□教員養成　□技術/職業教育
□その他（　　）

住所　〒８３７－０９１２
福岡県大牟田市大字白銀９６７番地１７

Website：http://www.e-net21.city.omuta.fukuoka.jp/yoshino-es/

児童生徒数：男子 226 名　女子 217 名　合計 443 名
児童・生徒の年齢　6 歳～ 12 歳

２．担当者

３．実施活動（複数選択可）

□　地球規模の問題に対する国連システムの理解
□　国際理解
□　世界遺産
□　平和・人権
■　環境
□　気候変動
□　生物多様性
□　エネルギー
□　防災
□　食育
□　伝統文化
□　そのほか（　　）

４．活動概要

１年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

本校では、豊かな自然と住宅街が混在する地域の特性を生かして、身近な地域の環境について考え、よりよい環境を守っていく取組を全学年で行った。低学年は、身近な自然の生き物などについて知ること、中学年は、校内外の生き物について調べ、学校の池のビオトープ化を中心に学校内の環境を守ること、高学年は、地域の環境について調べ、地域の環境を守るために自分たちにできることは何かを考え、取り組んだ。

また、地域とのつながりを重視し、地域の方をGTに招いたり、環境を守ることについて地区公民館などを通じて地域に発信したりする活動を行った。

〇１年生　「自然とふれあおう」
学校敷地内や近くの公園等で季節ごとに草花などの自然の様子を調べたり、見つけた木の葉や木の実などでおもちゃを作ったりして、身近な自然とふれ合う活動

〇２年生　「レッツゴー！町たんけん」
校区内の町探検で、季節ごとに町の自然の様子の変化を調べ、気づいたことをマップにまとめたりしながら、四季の移り変わりに伴う自然の変化を調べる活動

〇３年生　「吉野の自然　しらべ隊」
ネイチャーガイドの方々と校区内の公園や池などを探索し、身近な地域に生きている生き物の詳しい生態などを調べる活動

〇４年生　「つくろう！吉野のビオトープ」
学校の池の水の浄化の仕方について学習し、生き物が住める池になるよう水質管理を行うとともに、生き物の捕食関係などについて調べ、学校の池を野鳥や昆虫などが集まるビオトープにする活動

〇５年生　「自然を守ろう！吉野環境調査隊」
地域を流れる川の水質や生息する生き物などについて調べ、生き物と自然環境、人間の行動との関わりについて学習し、地域の自然を守っていくために自分たちにできることを考え、実行していく活動

〇６年生　「育てよう環境！吉野の未来のために」
中水による緑化など環境保護の取り組みを行う施設の見学をもとに、生物の環境保護、ゴミ問題、節電、節水という４つの観点から環境保護について調べ、よりよい環境を守っていくために自分たちにできることを考え、自ら実践するとともに他学年や地域への啓発を行う活動

〇全学年　「吉野ユネスコスクールフェスティバル」
生活科や総合的な学習の時間を中心に今まで自分たちが環境について学習したことや環境を守るための取組について、他学年の子どもや保護者・地域の方々に発表する活動

活動時間について（下記から選択して下さい。）

■　通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
□　時間外活動の時間を使用　　□　ユネスコクラブの活動として実施
□　その他（　　）

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

□　紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）　□　CD-ROM　■　写真

□　その他（　　）